

## TOTO

## 洗濯機用サーモスタット混合栓

TW40型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1.1

## 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

## 警告

## 湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

## 給湯温度は85℃より高温で使用しない

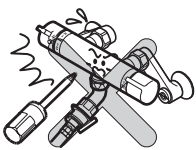
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

## この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

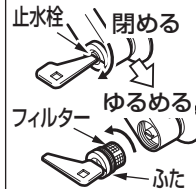
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



## 警告

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓または配管部の元栓を閉めてから行う  
また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認する

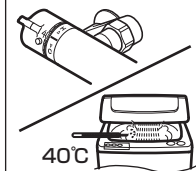
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う

使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをするおそれがあります。



水抜きをする場合は、必ず手を保護したうえで行う

たまっている湯が出て、やけどをするおそれがあります。

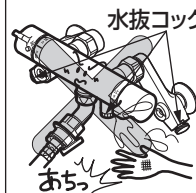


禁止

## 寒冷地用


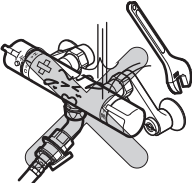


水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



# 1-2

## ⚠ 注 意

|   |   |  |
|---|---|--|
| <br>禁止   | 強い力や衝撃を与えない<br>破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。  |  |
| <br>必ず実行 | 凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に保温材を巻く<br>また、寒冷地用の場合は、「 <b>9</b> 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に<br>部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 |  |

# 2

## 仕様

|         |        |                               |
|---------|--------|-------------------------------|
| 給水・給湯圧力 | 最低必要水圧 | 0.05MPa(流動圧)                  |
|         | 最高水圧   | 0.75MPa(静水圧)                  |
| 使用最高温度  |        | 85℃以下                         |
| 使用可能水質  |        | 水道水および飲用可能な井戸水                |
| 使用環境温度  | 一般地用   | 1～40℃                         |
|         | 寒冷地用   | -20～40℃<br>(ただし、0℃以下は水を抜いた状態) |
| 用 途     |        | 一般住宅洗濯機用                      |

# 3

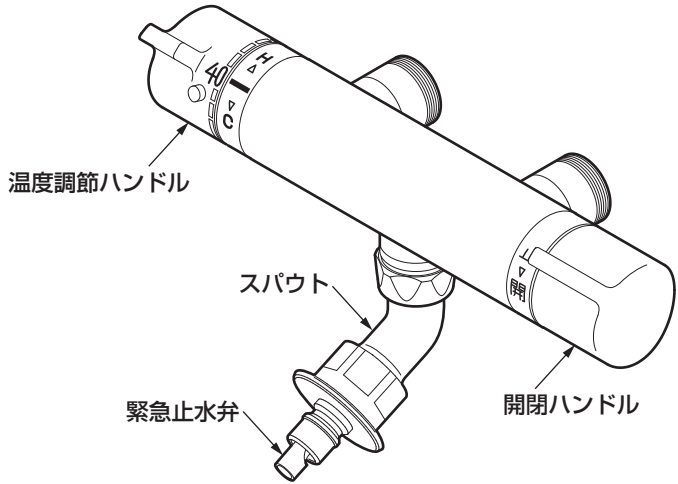
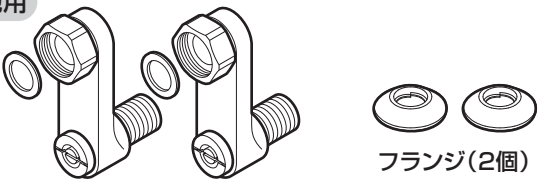
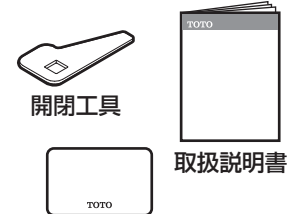
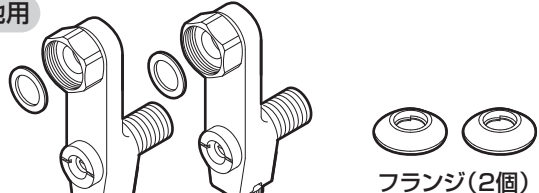

## 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。  
 快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。  
 また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 十分な機能を発揮させるため、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。  
 やけど防止のため、60℃超えない設定をしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

# 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

| 水栓本体部   |  |
|---|--|
|    |  |
| 取付脚部  | その他  |
| <p>一般地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き(2個)</p> <p>フランジ(2個)</p>  | <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>開閉工具</p> <p>取扱説明書</p> <p>水抜き方法ラベル<br/>(寒冷地用の場合のみ)</p> |
| <p>寒冷地用</p>  <p>取付脚 パッキン付き(2個)</p> <p>フランジ(2個)</p> |  |
|   |  <p>施工説明書</p>   |

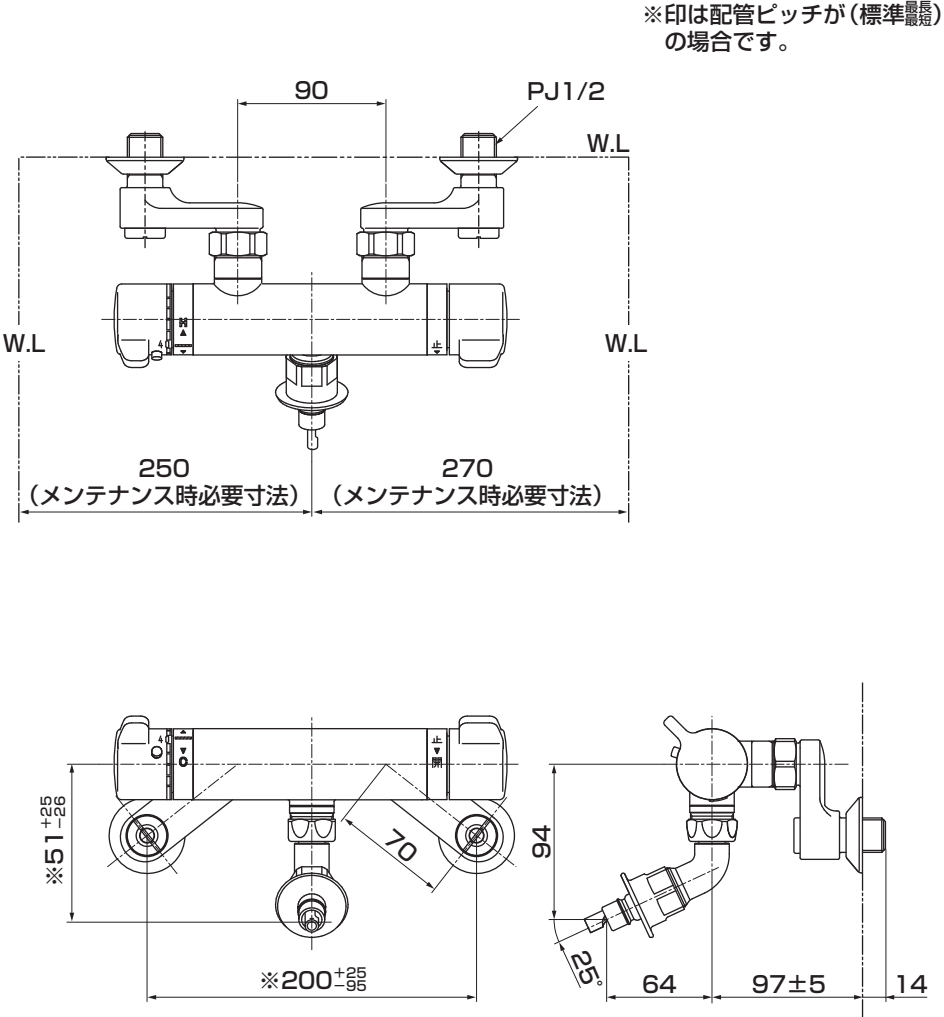
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 5

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

※印は配管ピッチが(標準鬮)の場合です。



90

PJ1/2

W.L

W.L

W.L

250 (メンテナンス時必要寸法)

270 (メンテナンス時必要寸法)

※151<sup>+26</sup><sub>-126</sub>

70

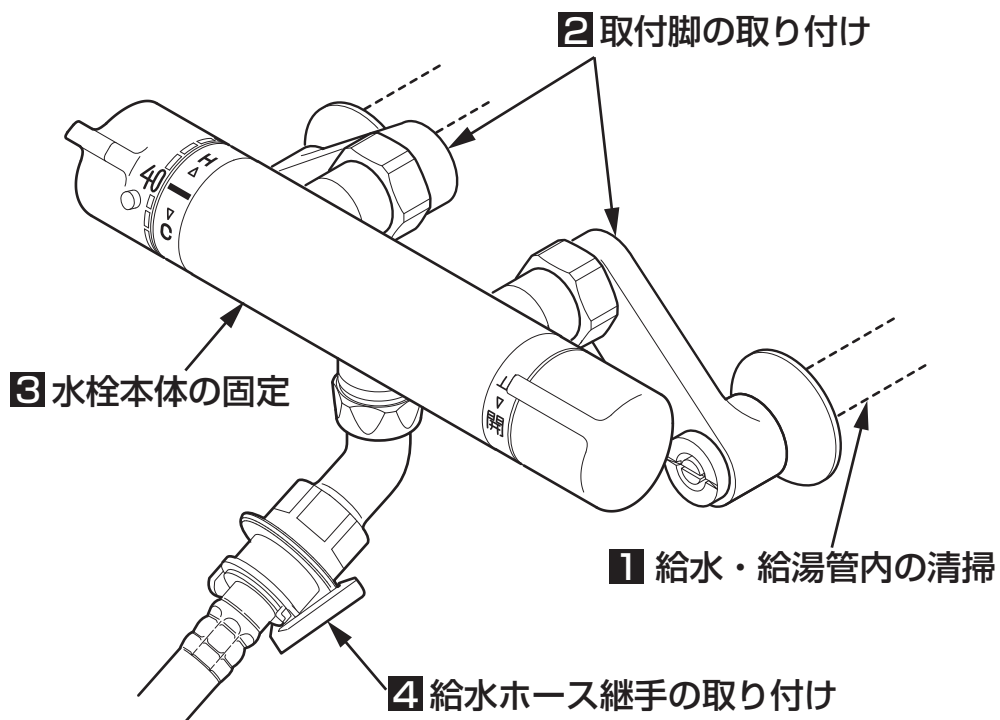
94

25

64

97±5

14



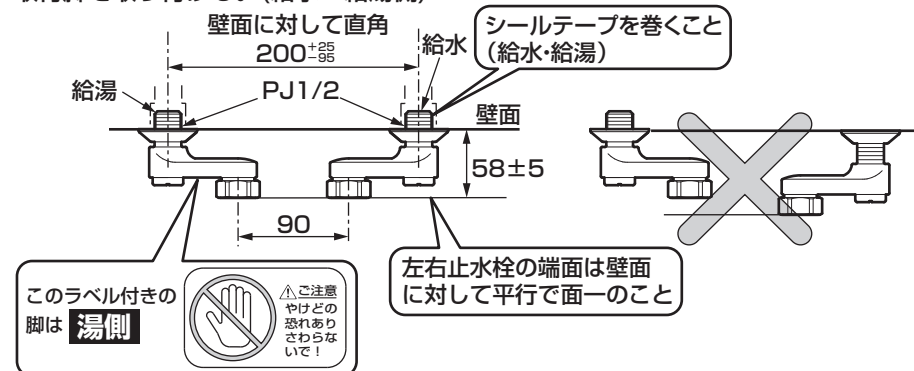
### 1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

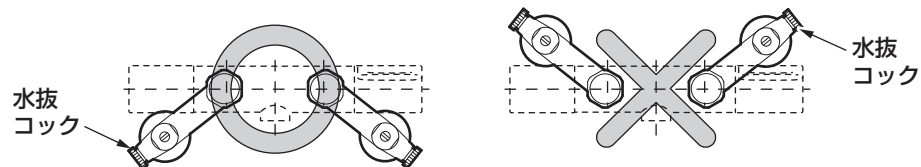
**重要**

### 2 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)



※寒冷地用の場合は取付脚の水抜コックが本体よりも上になると、水抜きができませんので必ず下になるように取り付けてください。



### 3 水栓本体の固定

- ① 水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ② 水平になるように調節しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

#### 注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。  
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- 取付脚は回さないでください。  
配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。  
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



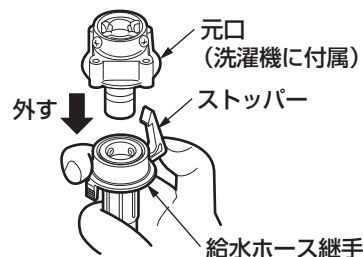
裏面へつづく

## 4 給水ホース継手の取り付け

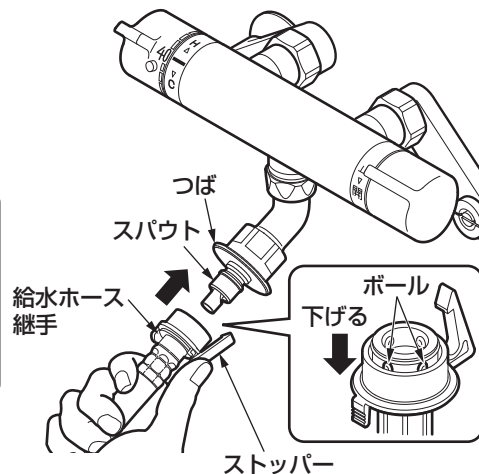
### 全自動洗濯機の場合

#### ①元口を外す。

※給水ホース継手に元口が接続されている場合には、給水ホース継手のストッパーの根元を押さえながら給水ホース継手を引き下げて元口を外してください。（洗濯機に付属された元口は必要ありません。）



#### ②ストッパーの根元を押さえ、給水ホース継手を引き下げ、ボールが見えた状態でスパウトに差し込み、ストッパーをスパウトのつばに引っ掛ける。



### 注意

日本電気工業会規格JEM1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

### 二槽式洗濯機の場合

### 注意

二槽式洗濯機用継手（別売：THY277-1）を購入いただき、本説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

#### ①ホースクランプを給水ホース（市販品）に通す。

### 注意

給水ホース（市販品）は内径φ15のものをご使用ください。

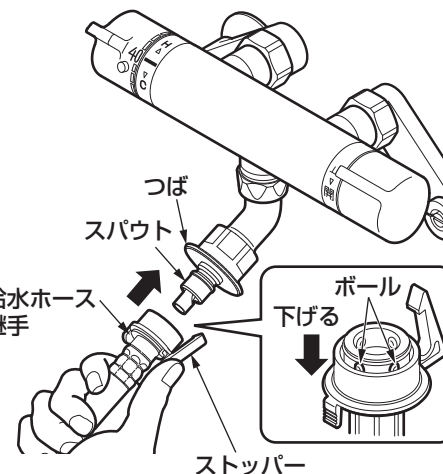
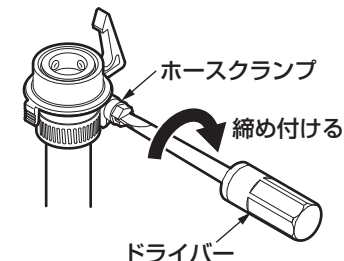
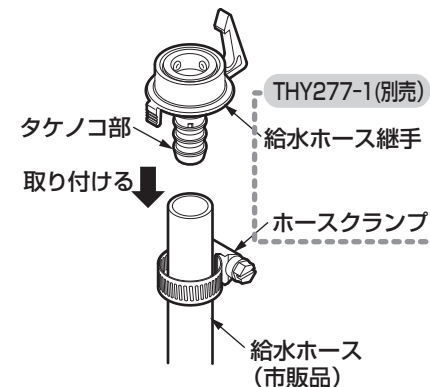
#### ②継手のタケノコ部を給水ホースの奥まで差し込む。

#### ③ホースクランプをタケノコ部の奥まで持っていき、ドライバーで強く締め付ける。

#### ④ストッパーの根元を押さえ、給水ホース継手を引き下げ、ボールが見えた状態でスパウトに差し込み、ストッパーをスパウトのつばに引っ掛ける。

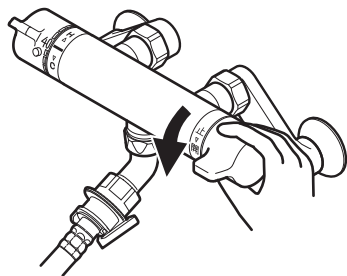
### 注意

日本電気工業会規格JEM1206に合致しない給水ホース継手は使用しないでください。通水不良や水漏れのおそれがあります。

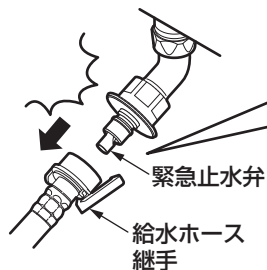


## 1. 水出し確認

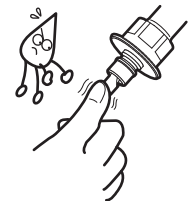
取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、吐水口から水が出るか確認してください。



## 豆知識

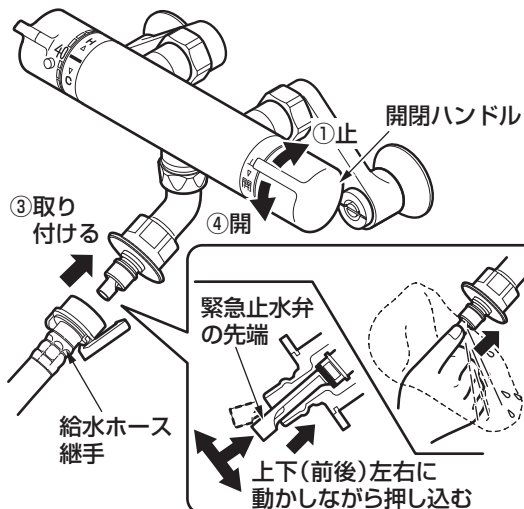


使用中に給水ホース継手が外れても、水の力で吐水口がふさがり、水は漏れません。下記の要領でこの水の力(水圧)を逃がし、給水ホース継手を復帰させてください。



## 〈給水ホース継手の復帰方法〉

- ① 開閉ハンドルのレバーを「止」の位置まで回し、水を止める。
- ② 緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下(前後)左右に動かしながら押し込み、水を抜いてください。
- ③ 給水ホース継手を取り付ける。
- ④ ハンドルのレバーを「開」の方向に回し、水を出す。

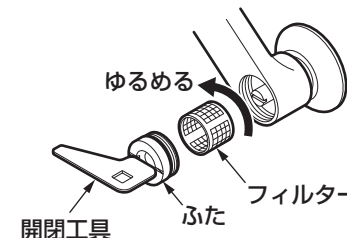


## 2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

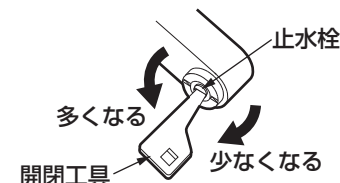
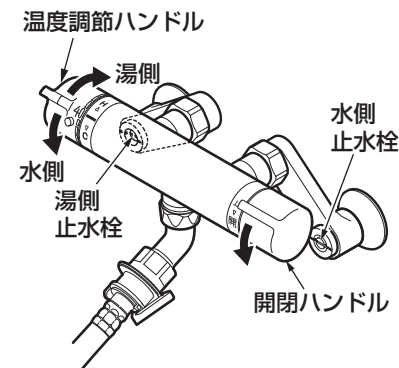
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でフィルターを外してください。また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください。)



## 3. 流量の調節

開閉ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱい回し、開閉ハンドルを下に回す。
2. 水側止水栓で流量を調節する。  
※時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。
3. 温度調節ハンドルを安全ボタンを押しながら上(湯側)いっぱい回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



## 警告



必ず実行

湯側の調節を行うときは十分に注意する

熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

## 4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

### 1. 給湯機の給湯温度を設定する。

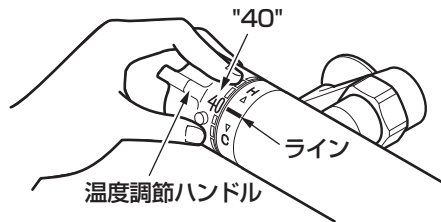
給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。

例えば、40℃の湯を出したい場合、給湯機の給湯温度は50℃以上に設定してください。

十分な機能を発揮させるため、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。

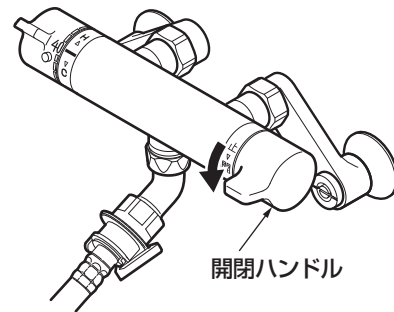
やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。

### 2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をラインに合わせる。



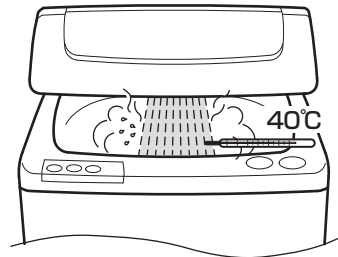
### 3. 開閉ハンドルを下いっぱいに戻す。

水が出ます。



### 4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（約40℃）であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照し、設定し直してください。

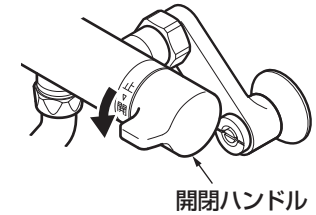


## 5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

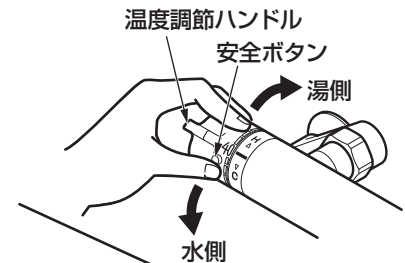
### 1. 開閉ハンドルを下いっぱいに戻す。

水が出ます。



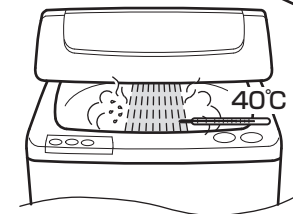
### 2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



### 3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。



#### 豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部分を軽くたたいてください。

### 4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを"カチッ"と音がするまで押し込んでください。

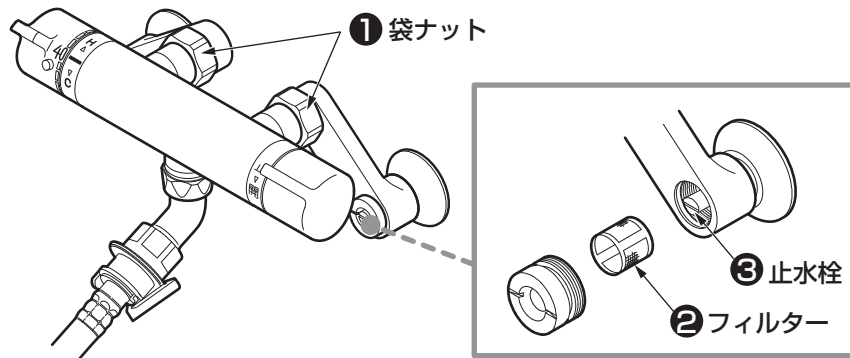


### 5. 固定後に適温（約40℃）の湯が出ているか確認する。

# 8

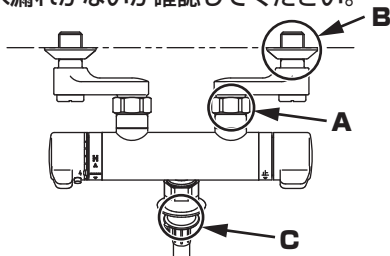
## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



### 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



#### Aから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

#### Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度シールトテープを巻き、取り付け直してください。

#### Cから水漏れがある場合

6-2 - 4 「給水ホース継手の取り付け」参照

### ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

#### 1 袋ナットのゆるみはないですか？

6-1 - 3 「水栓本体の固定」参照

### 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

#### 2 フィルターのごみ詰まりはないですか？

7-1 2. フィルターの掃除 参照

#### 3 止水栓は開いていますか？

止水栓で流量を調節する。

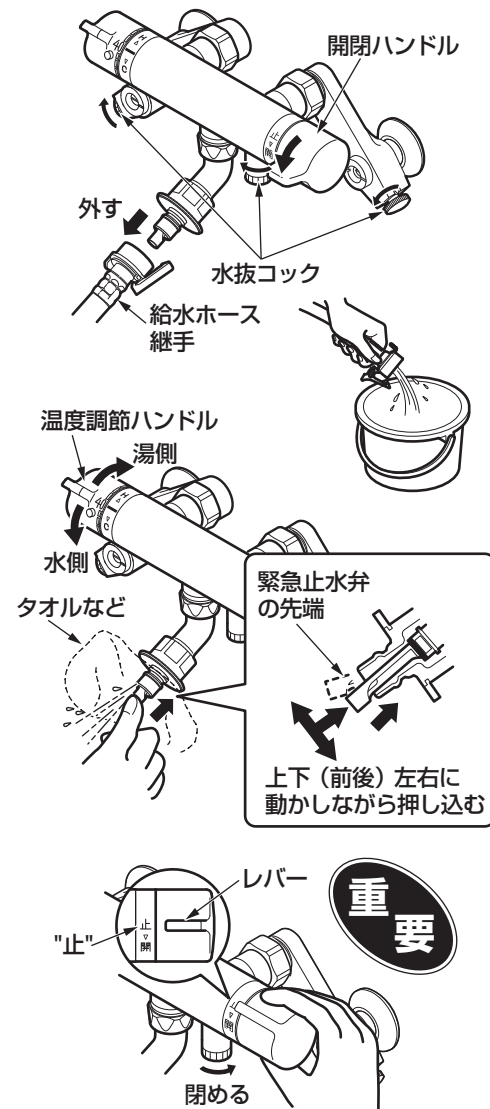
7-1 3. 流量の調節 参照

# 9

## 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。
2. 開閉ハンドルを下いっぱいに戻す。
3. 給水ホース継手を外す。  
給水ホース内の残水はバケツなどで受けてください。
4. 水抜コック（3カ所）をすべて開ける。  
水抜きの際は、水抜コックおよび緊急止水弁から少量の水が出ますのでご注意ください。
5. 温度調節ハンドルを上（湯側）いっぱい回して水を抜く。  
緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえてつまみ、上下（前後）左右に動かしなが押し込み、水栓の水抜きを数回開をあけて行ってください。
6. 温度調節ハンドルを下（水側）いっぱい回して水を抜く。  
湯側と同様に、緊急止水弁の先端を水が出なくなるまで押し込んでください。
7. 水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めて、開閉ハンドルのレバーを水栓本体の"止"の位置（水が出ない状態）に戻す。



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。